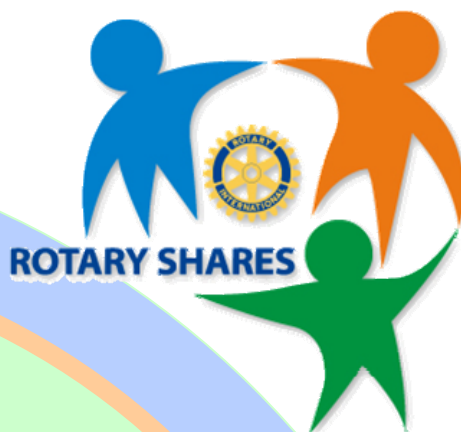


ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2640

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

「ロータリーは分かちあいの心」



2007.8.1  
NO.2  
2007～2008年度

## 目 次

1. ガバナーメッセージ…………… 1
2. 会員増強は「分かちあいの心」から…………… 2～3
3. 会員増強について…………… 4～6
4. GN確定宣言…………… 7
5. ハイライトよねやま…………… 8
6. 文庫通信…………… 9
7. 8月行事予定表…………… 10



RI 会長  
ウィルフリッド・J. ウィルキンソン



ガバナー 平原 祥彰

**8月は会員増強および拡大月間**

国際ロータリー第 2640 地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640

FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: http://www.rid2640g.org/sangen/

# ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区  
ガバナー 平原 祥彰



皆さん、お元気でしょうか。暑い日が続いております。新年度がスタートして早くも1ヶ月ですね。

皆さんは自分のクラブ、所属する委員会で張り切って奉仕や親睦や諸々の活動に励んでおいでの事と思います。

8月は会員増強・拡大月間です。私は20年近く以前に友人の熱心なすすめで粉河ロータリークラブに入会させていただきました。いろいろな事があって年月は過ぎていきました。今にして思えば楽しい思い出が溢れ出てくるような気がいたします。しかし熱心に何かプログラムに取り組んだとか、成功して喜びにむせんだとか、そんな経験はないのです。つまりしっかり勉強したとか、何かこだわって成し遂げたとか、そんな事はないのです。

しかし業種の異なる未知の人々と友達になりお付き合いすること、親しくなることはロータリーに入会したことによるものです。これにはとても満足しています。能力、知識、経験、品格、実績等々に秀れた友人と一緒に居るだけで楽しい。皆さん、そうではありませんか。我々のロータリーは100年をこえて発展し、「地球村のリーダー」として“いいこと”を沢山実現して行こうと計画を実践していますね。この夢をすすめるために私達は力強いクラブに造り替え、メンバーの力を結集して、より高い目標に向かって前進しなければなりません。

クラブの活動に勢いをつけるとか、地域社会での存在感を高めるとか、財政的ゆとりをつくるとか、増強を実現すればいいことが沢山あります。男性だけでなく女性もクラブに誘いましょう。まず声をかけることです。二度や三度は断りを云われるものです。ロータリアンとしての“楽しさ”や、奉仕についての理解がまだなのですから、それは仕方のないことなのです。入会してクラブの中で磨かれて成長して、少しずつ理解が深まり立派なロータリアンとなって行くのですから。

あなたは感謝されるでしょう。“あなたが声をかけてくれたから、私はいまロータリーを楽しむことができます”と。

8月だけが増強ではないのですが、クラブのリーダーとして、クラブのメンバーとして、是非とも増強に力を注いで下さい。あなたが先ず一歩前へ出る、それがクラブを元気にします。活気が出ます。活動がすすみます。みんなはもっと元気になります。あなた自身も幸せになります。

私と一緒に幸せになりましょう。

私と一緒に頑張りましょう。





## 会員増強は「分かち合いの心」から

会員増強（退会防止）委員会アドバイザー  
パストガバナー 亀岡 弘



ウイルフリッド J. ウイルキンソン RI 会長は、「ロータリアンというのは、実に豊かな多様性に満ちた人々の集まりです。さまざまな国でさまざまな言語を話す私たちは、信仰も政治的見解も、ひいては哲学的な信念をも異にしています。120万人の会員の中に共通する一本の強力な糸が存在するとすれば、それは“分かち合い”という名の精神でできた糸です。」と語っています。

私たちロータリアンは、新会員の勧誘、現会員の維持、そして新クラブの拡大を図る責務を負っています。この3要素は等しく重要なものです。ロータリークラブが、充実し、意義深く、効果的であり続けるためには、これらの要素がクラブや地区レベルで強調される必要があります。

(1) 会員勧誘： 目標は2008年3月31日までに、各クラブ1名の増強を達成することです。そのためには一人ひとりのロータリアンが、良き指導者、献身的なロータリアンとなりうる新人を勧誘し、入会してもらうよう地元地域社会の事業者や専門職リーダーの方々ともロータリーを分かち合うことです。会員増強は未来を託する人材を得るための最大の奉仕です。本年度 RI 理事、研修リーダー、会員組織コーディネーター、地区ガバナー、クラブ会長からなるウイルキンソン RI 会長のリーダーシップ・チームの全ロータリアンに少なくとも1名の新会員を入会させて頂くよう支援をお願いしています。このようにロータリーは分かち合うものであり、ロータリー発展のために、当然各クラブ全ロータリアンは、新会員を勧誘し、入会させる責務を分かち合わなければなりません。

RI 理事会は、小規模クラブのために、2008年5月15日までに会員数が10名未満は10名、10～14名は15名、15～19名は20名に達すると表彰することを承認しています。また複数の新会員を入会させた会員が正式な形で表彰されます。

(2) 会員維持： ロータリーが末永く成功を収め、健全であり続けるためには優れた会員を維持することは新会員の入会と同じく重要です。しかも経験に長けた知識豊かなロータリアンを持つことで、勧誘活動の効果をより発揮できます。

毎年会員の自然減少分を補充しなければクラブが衰退します。いかに優秀なクラブ会員ばかりでも、クラブ活動やプロジェクトへの継続的関与はできなくなり、クラブの体質に変化が起これば、クラブ運営も存続も危機にさらされます。クラブの適正な会員数を維持しつつ、ロータリーに相応しい会員を増強することは重要です。現今クラブ会員全員が知恵を出し合って会員維持に努めることが急務です。

(3) クラブ拡大： 国際ロータリーが重要な人道的活動を継続し、自国や海外の地域社会での奉仕を拡大していくためには、会員基盤を拡大し続けなければなりません。より多くの会員を持つということは、より多くの知識、才能、エネルギーを持つことを意味し、それによって何百、何千、何万の人々の生活に影響を与える志高いプロジェクトが遂行できるようになります。新会員の一人ひとりが個人的あるいは職業的な資源や能力を持ち寄ることで、クラブが地域社会や世界のために行う奉仕を成功へと導きロータリーをさらに充実させることとなります。

現在日本の現状からはクラブ拡大は難しい状況にありますが、それを乗り越えて毎年どこかの地区で2～3のクラブが誕生しています。当2640地区では、2000年4月に有田2000RC、2002年12月に大阪金剛RCが誕生してから約5年間その声を聞いていません。皆様方の叡智を出して本年度あたり拡大を考えてみようではありませんか。

**第2640地区の2000年6月30日から2007年6月30日までの会員の推移**を次に掲げます。

### 第2640地区 会員の推移

クラブ数 会員数 (女性) 増減数 (女性)

2000.6.30	75	3,497 (123)	—	(—)
2001.6.30	75	3,304 (128)	—193	(+5)
2002.6.30	75	3,119 (131)	—185	(+3)
2003.6.30	76	2,927 (141)	—192	(+10)
2004.6.30	76	2,766 (135)	—161	(—6)
2005.6.30	76	2,655 (131)	—111	(—4)
2006.6.30	76	2,586 (133)	—69	(+2)
2007.6.30	76	2,452 (129)	—134	(—4)

2004年～06年にかけて一時下げ止まった感がありましたが、06～07年度は入会者が例年より少なく、マイナスが脹らみました。7年間の減少は合計1045人(29.88%)となります。また07年6月末日をもって打田RCが消滅し、07年7月1日からクラブ数が75となります。

本年度は、是非各クラブ1名の純増を行い、地区として久方振りの増強の達成の喜びを会員の皆様方と共に分かち合いたいものです。頑張りましょう。

# 会員増強について

RI2640地区 2007～2008年度  
会員増強 退会防止委員長 小林 信夫



ロータリークラブ創立100年の長い歴史、168ヶ国への拡大、120万人のロータリアン、順調に発展し、世界中に拡大致してまいりましたが、近年会員数が頭打ち、下降に向かいつつあります。

その大きな原因は2大ロータリー大国と言われる日本と北米アメリカの大幅な会員減少にあります。

最大の会員減少国は日本であります。1996～1997年度の13万人強の会員から2006～2007年度の10万人、今年度6月末には10万人の大台を割ることが確実視されております。

ここ10年で3万人強の減少であり、減少率23%強になっております。

## ◆ 会員減少の原因は何か ◆

### 1. R・Iと日本のロータリークラブとの基本的な考え方の乖離

今や世界は急速にあらゆる面で多様化しております。価値観も多様化致しております。

ロータリーのすばらしい理念、組織も100年以上経過すると少々古くなりほころびも出て来ます。又、機能も低下致します。

DLP、CLPに取り組んでいるところでありますが、成功するかどうかわ今もう少し時間のかかる所であります。

又、R・Iによる一方的な押し付け、画一的な考え方は多様化する現在では通用致しません。

今、日本のロータリークラブも日本独自の企画で奉仕事業を発展する必要があります。その良い成功例は米山奨学財団であり、日本が世界に誇れる素晴らしい奉仕事業であります。

長期に渡って継続できる奉仕事業を新しく進めるべきであります。

ロータリー綱領、4つのテスト、手続要覧など文章や表現力が現在の日本人にあまりなじまない（特に若い会員）、再検討する必要があると思われまます。

### 2. クラブの活動の低下

会員減少による活力の低下、会員の意識の低さ、財源の減少による低下が続いております。

会長自らがリーダーシップを取り増強に取り組んでください。クラブの活力は増強から始まります。

## 1. ロータリークラブの基本的理念の喪失

以前は新入会員に対して情報委員及び紹介者がロータリーの理念、組織を十分教え理解して頂いておりましたが、近年あまり機能していないクラブが多い様に思われます。2～3年以内の退会者が多いのはその結果だと思われます。

入会時こそ一番大切であり、しっかりオリエンテーションを行って下さい。

ロータリーの良さと情熱を植え付けて下さい。

## 1. 魅力のないクラブの例会

マンネリ化した例会、ワンパターンの例会、例会を楽しくと申しましても毎週のことであり、担当者はなかなか大変です。

家族例会、行事例会を増やしたり、又、地域社会の人達を招いての例会、地域の子供や学生を招いての例会など、ロータリーのPRを兼ねた例会など、もう少し幅広く行うのも良いかと思えます。

## 1. 経済的な問題

ここ10年来の不況も少しずつではありますが上向きつつあります。

しかし、地域格差、企業間格差が拡大しつつあります。なかなか思い通りにはなりません、多様化する現在、新しい業種、新しい企業の台頭があります。

是非そのような会員を勧誘し、入会をお願い致します。

## 1. 高齢化の問題

人口の急速な高齢化、ロータリアンの高齢化も急速に進んでおります。

世界平均との比較

○70歳以上	日本	17%	世界平均	14%
○60～69歳		28%		22%
○50～59歳		36%		30%
40～49歳		17%		23%
30～39歳		2%		10%

## 1. 無理なクラブ拡大による質の低下

同じ地域内にクラブが乱立しています。ガバナーが誕生するたびに1クラブ発足という無理な拡大の結果、今日の様な状態を招いております。

R I 2 6 4 0地区の平均会員数が34名であり、全国平均の42名より8名も少ない数字が出ております。

今後、地域内の各クラブが交流を密に行い、統合、合併に移行する時が来ている様に思われます。

## 1. 地域社会に対するロータリークラブのPR不足

地域社会に対してのPRが弱い、そしてあまり上手とは申せません。

今後は地域社会に対して、奉仕団体としての理解と認識を高め、積極的に事業を行うことが会員増強にも繋がります。

将来、地域社会を背負う子供や学生に対し、ロータリークラブの理念や事業（わかりやすく）を知って頂き、未来のローターアクト、インターアクトそしてロータリアンを目指して頂きたい。

## 1. 女性会員の入会

近年女性の社会進出が進んでおります。日本のロータリークラブも今年度初めて女性のガバナーが誕生致しました。少しずつではありますが、女性会員が増加致しております。

しかし世界的にみますとまだまだ少ないようです。世界平均女性会員数は15%を占めておりますが、日本は4%であります。2640地区は5.4%であります。

他の奉仕団体との競合もありますが、ロータリークラブの良さを説明していただき多数の入会をお願い致します。

尚、クラブにより女性の入会を閉じているところもあるようですが、再考をお願い致します。

## 1. ガバナー補佐の皆様に対するお願い

ガバナー補佐の皆様には会員増強のお手伝いをお願い致します。

私達会員増強委員は5名しかおりません。是非担当地区での増強を積極的に推進していただきたくお願い致します。

# ストップ ザ 会員減少

# 上昇に転じよう



# 2009～2010 国際ロータリー第2640地区 ガバナーノミニー確定宣言

2009～2010年度ガバナーノミニー候補者の推薦について、三軒年度ガバナー月信第10号で公示致しましたが、2007年6月30日の締め切りまで正式の推薦がありませんでした。

地区ガバナー指名委員会は協議の上、田辺ロータリークラブ会員 村上 有司君を国際ロータリー第2640地区2009～2010年度ガバナーノミニーとする事に決定致しましたので、ここに宣言いたします。

国際ロータリー第2640地区  
ガバナー 平原 祥彰



国際ロータリー第2640地区

ガバナー 平原 祥彰 様

2009～2010年度の  
第2640地区ガバナーノミニーに  
指名されましたことを謹んでお受け致します。

平成19年7月27日

田辺ロータリークラブ

村上 有司

村上有司

## 村上 有司君の略歴

氏名 村上 有司 (むらかみ ゆうじ)

生年月日 1940年 7月18日

住所 〒646-0036

和歌山県田辺市上屋敷2丁目14番35号

TEL: 0739-24-6161

FAX: 0739-25-0100

学歴 明治大学法学部卒

職歴

1967年4月 最高裁判所司法研修所入所

1969年3月 同所 卒業

1969年4月 弁護士開業 (大阪)

1970年6月～村上法律事務所開設 (田辺)

(この間、田辺市選挙管理委員、和歌山地方・  
家庭裁判所調停委員等公職多数)

## ロータリー歴

1970年 田辺RC入会

1980年 退会

1984年 再入会

1972～1973年 クラブ出席委員長

1979～1980年 クラブ唱歌委員長

1990～1991年 クラブロータリー財団委員長

1996～1997年 クラブSAA

2005～2006年 クラブ会長

2006～2007年 RI2640地区第1組ガバナー補佐

2007～2008年 ロータリー情報委員長

\* 第10回米山功労者メジャードナー

\* ベネファクター

\* ポールハリスフェロー

\* マルチプルポールハリスフェロー7回



# ハイライトよねやま 89号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

.....  
:: 今月のトピックス ::



2007年7月12日発行

- .....
1. 寄付金速報 — 予算達成、ありがとうございました —
  2. 財団設立 40 周年★オリジナル切手シートを発行！
  3. 第 1 期現地採用奨学生がついにベトナムから来日
  4. 外務省の招へいで米山学友が来日
  5. 米山学友がクラブ会長に！【2710 地区 東広島 RC】
  6. 名誉理事長が仏政府から勲章を受章

## 文庫通信 (239号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ロータリーの課題

- ◎「パネルディスカッション クラブ活性化」  
上條優雄（コーディネーター）（D.2790 地区大会） 2007 9p
- ◎「ロータリーと私」 佐原 元 （D.2800 地区大会） 2007 8p
- ◎「時間に愛を込め、仕事に愛を込めることを」  
深川純一 （D.2580 地区大会） 2006 10p
- ◎「社会奉仕について」 野崎元治 （D.2740 地区協議会） 2006 11p
- ◎「CLPの一考察」 成川守彦 （D.2640 月信） 2007 10p
- ◎「CLP 研修委員会の報告」 三木 靖 （D.2730 月信） 2007 2p
- ◎「参考!!CLP アンケート」 （D.2830 月信） 2007 2p
- ◎「危機管理委員会設置の目的、経緯・内容」 落合雅雄 （D.2550 月信） 2007 5p
- ◎「危機管理委員会設置の目的、経緯及び内容等について」  
本山新三 （D.2680 月信） 2007 4p
- ◎「ロータリーとは？ーロータリアンであることの意義」  
成川守彦 宇都宮北 R.C. 2007 4p

〔上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）〕

### ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



## 8 月 会員増強および拡大月間

1日	(水)	地区ロータリー情報・規定委員会会議	ガバナー事務所
2日	(木)		
3日	(金)		
4日	(土)	クラブ会員増強(退会防止)、拡大委員長会議 GSE第4回オリエンテーション 2007～2008年度長期受け入れ学生のホストファミリー並びにクラブカウンセラーに対するオリエンテーション	和歌山 JAビル ガバナー事務所 テクスピア大阪
5日	(日)		
6日	(月)		
7日	(火)		
8日	(水)		
9日	(木)		
10日	(金)		
11日	(土)	クラブ会長会議 GSE第5回オリエンテーション	和歌山 JAビル 銀杏
12日	(日)		
13日	(月)		
14日	(火)		
15日	(水)		
16日	(木)		
17日	(金)		
18日	(土)	クラブ雑誌・広報、IT委員長会議	和歌山 JAビル
19日	(日)		
20日	(月)		
21日	(火)		
22日	(水)		
23日	(木)		
24日	(金)		
25日	(土)	クラブ青少年・ライラ委員長会議	和歌山 JAビル
26日	(日)	2007～2008年度長期受け入れ学生への第1回オリエンテーション・歓迎会 2006～2007年度長期派遣学生帰国報告会 2007～2008年度短期交換学生帰国報告会	テクスピア大阪
27日	(月)		
28日	(火)		
29日	(水)	公式訪問:河内長野東RC(夜)	河内長野市商工会館
30日	(木)	公式訪問:堺RC(昼) 公式訪問:堺泉北RC(夜)	リーガロイヤルホテル堺 ビックアイ
31日	(金)		



### 国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/sangen/>

勤 務 時 間 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 宇田 勝彦

事 務 職 員 山本千恵子 平田有紀子



### ガバナー事務所 夏季休暇のお知らせ

8月11日(土)～19日(日)までお休みです。